

全国被害者支援ネットワーク

令和7年度 秋期全国研修会

2025年

10月18日(土)・19日(日)

機械振興会館

機械振興会館

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

〈最寄りの交通機関〉

- ・東京メトロ日比谷線神谷町駅下車 徒歩8分
- ・都営地下鉄三田線御成門駅下車 徒歩8分
- ・都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅下車 徒歩10分
- ・都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅下車 徒歩10分
- ・JR山手線・京浜東北線浜松町駅下車 徒歩15分

参加費無料・事前申込み制

受付期間：7月31日(木)～9月22日(月)

ネットワーク加盟団体もしくは関係機関(都道府県警察、都道府県庁、市区町村役所、教育関係、教育施設等、法テラス、検察庁、法務省、裁判所、保護観察所、更生保護施設、矯正施設、被害当事者団体)等の**被害者支援に携わっている機関所属の方**が対象になります。



←お申込みはこちらから

(秋期全国研修会申込フォーム)

開催概要(詳細)も申込フォームから閲覧できます。

<https://www.nnvs.org/participantsws1503/>

秋期全国研修会とは

秋期全国研修会は、公益社団法人全国被害者支援ネットワークと警察庁が主催する、ネットワーク加盟団体に所属する職員と被害者支援関係所属の方が対象の全国規模の研修会です。一部の分科会は、ネットワーク加盟団体に所属する支援員・相談員のみが対象となっています。

令和7年度秋期全国研修会のプログラム

毎年、被害者支援に携わる方々が必要とするテーマについて、分科会と全体会を設けています。令和7年度におきましては、以下のテーマ等を取り上げます。

- **中長期支援における多機関との連携**：犯罪被害者等が再び平穏な生活を取り戻すためには、多くの機関や専門家等が連携し、長期にわたり途切れない支援を実施する必要がある。その現状と課題について検討する
- **刑務所等における新たな取組**：被害者等の心情等の聴取・伝達制度、拘禁刑など新たな制度や取組を説明する
- **精神疾患等についての基礎知識**：被害者のみならず、加害者の特性や背景を理解するためには、現代の精神疾患についての適切な理解が必要になる。現代の精神医学の特徴、トピック、犯罪に関わる精神保健制度も含め解説する
- **外国人被害者支援の実際と課題**：海外で犯罪被害にあわれた被害者のご遺族の経験を伺うとともに、支援に必要な知識と情報の共有を行い、支援の大切さを一緒に考え、理解を深める
- **被害者遺族への支援を考える**：喪失にともなう自然な反応であるグリーフや、死別後の支援、喪失そのものが不確実な場合のあいまいな喪失の支援について取り上げるとともに、支援活動者自身の価値について振り返る機会とする
- **犯罪被害者等に対するインターネット上の誹謗中傷の現状と課題**：犯罪被害者へのインターネット上の誹謗中傷による二次被害に対する十分な支援は行われていない。その問題の所在を確認し、現状や改善策のヒントを紹介する
- **途切れない支援の現状と課題**：社会全体で被害者等を支え、途切れない支援を推進していくにあたり、関係機関がどのような連携を図っていくか、必要な社会資源をどう活用していくのかについて考える
- **SNSと性暴力**：こどもがSNSを介して相手とつながり、性暴力などの犯罪に巻き込まれるケースが増えている。その現状やこどもの背景について解説するとともに、こどもの支援を考える場とする
- **交通犯罪の被害者を救うために何ができるのか**：危険運転致死傷罪は、今年、法制審議会において改正の議論が行われている。警察の支援と、法改正によって何ができるのか、被害者遺族の方と有識者で考える

問い合わせ先

- 研修の内容・参加資格等について…公益社団法人全国被害者支援ネットワーク TEL：03-3811-8315
 - お申込み状況のご確認について…株式会社 on the shore TEL：03-5422-9499
- (警察庁委託により業務を担当します。上記フォームから申込ができない場合は、株式会社 on the shoreにご連絡ください。)
(メール seminar-office@ontheshore.netでも対応いたします。)

※平日 10時～16時 お問い合わせの際は「秋期全国研修会の件」とお伝えください。

令和7年度 秋期全国研修会 プログラム

10月18日(土) 分科会A 10:00～12:30(150分) 会場 6階

研修名	対象（参加形態）	演題	講師
★A-1	加盟団体のみ （対面）	面接相談	遠藤えりな（NNVS認定コーディネーター・ひょうご） 野崎さおり（NNVS認定コーディネーター・みやざき）
A-2	どなたでも参加できます。 （対面）	中長期支援における多機関との連携	佐々木みどり（NNVS認定コーディネーター・神奈川） 藤澤由美子（NNVS認定コーディネーター・大分）
A-3	どなたでも参加できます。 （対面）	刑務所等における新たな取組 ～心情等の聴取・伝達制度と 拘禁刑下における加害者処遇～	山下幸太郎（法務省矯正局成人矯正課企画調整官） 塚原章裕（法務省矯正局成人矯正課法務専門官） 荒巻由衣（法務省矯正局総務課企画調整官） 三谷晴香（法務省矯正局総務課法務事務官）
A-4	どなたでも参加できます。 （対面）	精神疾患等についての基礎知識 ～被害者と加害者の両者を理解するために～	大山美香子（志木北口クリニック院長、精神科医、埼玉犯罪被害者援助センター理事）
A-7	心理専門職・精神保健福祉士・ 社会福祉士対象 （対面）	心理的支援専門職実務研修（1） ～遺族への心理的支援を中心に～	岡本かおり（清泉大学人間学部教授、被害者支援都民センター犯罪被害相談員、公認心理師、臨床心理士） 鶴田信子（被害者支援都民センター相談担当心理責任者、犯罪被害相談員、公認心理師、臨床心理士）
A-5	どなたでも参加できます。 （Zoom）	外国人被害者支援の実際と課題	工藤美貴子（NNVS認定コーディネーター・あおもり） 楠本節子（NNVS認定コーディネーター・大阪） 高橋久代（NNVS認定コーディネーター・くまもと）
A-6	どなたでも参加できます。 （Zoom）	被害者遺族への支援を考える	黒川雅代子（龍谷大学短期大学部社会福祉学科教授）
A-8	どなたでも参加できます。 （A-5のサテライト聴講）	外国人被害者支援の実際と課題	A-5サテライト講座
A-9	どなたでも参加できます。 （A-6のサテライト聴講）	被害者遺族への支援を考える	A-6サテライト講座

★印の分科会は、ネットワーク加盟団体所属の支援員・相談員が対象です。

※A-8とA-9はZoom配信分科会（A-5・A-6）を会場（機械振興会館）のスクリーンで聴講する講座です。グループワークが実施された場合でもワークに参加はできません。

10月18日(土) 分科会B 13:30～16:30(180分) または13:30～15:30(120分) 会場 6階

研修名	対象（参加形態）	演題	講師
★B-1	加盟団体のみ （対面）	ニーズに応える電話相談のありかた	林貴子（NNVS認定コーディネーター・ぎふ） 高橋久代（NNVS認定コーディネーター・くまもと）
★B-2	加盟団体のみ （対面）	被害者支援における心理教育	工藤美貴子（NNVS認定コーディネーター・あおもり） 森田ひろみ（NNVS認定コーディネーター・いばらき）
★B-3	加盟団体のみ （対面）	直接的支援の実際	片山文（NNVS認定コーディネーター・おかやま） 野崎さおり（NNVS認定コーディネーター・みやざき）
B-4	どなたでも参加できます。 （対面）	犯罪被害者等に対するインターネット上の 誹謗中傷の現状と課題	コーディネーター 川本哲郎（元同志社大学法学部教授、京都犯罪被害者支援センター副理事長） パネリスト 十河太郎（同志社大学大学院司法研究科教授、京都犯罪被害者センター監事） 中江美則（亀岡集団登校交通事故ご遺族、NPO法人ルミナ理事長） 被害者支援センターすてつぐん、埼玉犯罪被害者援助センター、長野犯罪被害者支援センター
B-7	心理専門職・精神保健福祉士・ 社会福祉士対象 （対面）	心理的支援専門職実務研修（2） ～遺族への心理的支援を中心に～	岡本かおり（清泉大学人間学部教授、被害者支援都民センター犯罪被害相談員、公認心理師、臨床心理士） 齋藤梓（上智大学総合人間科学部心理学科准教授、被害者支援都民センター犯罪被害相談員、公認心理師、臨床心理士） 鶴田信子（被害者支援都民センター相談担当心理責任者、犯罪被害相談員、公認心理師、臨床心理士）
研修名	対象（参加形態）	演題	講師
B-5	どなたでも参加できます。 （Zoom）	途切れない支援の現状と課題	竹山律子（NNVS認定コーディネーター・埼玉） 橋本理恵（埼玉県県民生活部防犯・交通安全課主査）
B-6	どなたでも参加できます。 （Zoom）	SNSと性暴力 ～こどもへの支援の視座～	櫻井鼓（追手門学院大学 心理学部心理学科教授／横浜恵春期問題研究所副所長）
B-8	どなたでも参加できます。 （B-5のサテライト聴講）	途切れない支援の現状と課題	B-5サテライト講座
B-9	どなたでも参加できます。 （B-6のサテライト聴講）	SNSと性暴力 ～こどもへの支援の視座～	B-6サテライト講座

★印の分科会は、ネットワーク加盟団体所属の支援員・相談員が対象です。

※B-8とB-9はZoom配信分科会（B-5・B-6）を会場（機械振興会館）のスクリーンで聴講する講座です。グループワークが実施された場合でもワークに参加はできません。

※A-7とB-7は通し講座です。両方に参加出来る方を優先します。また、加盟団体または都道府県警察所属の有資格者のみが対象です。

有資格者とは、支援センター所属の臨床心理士・公認心理師・社会福祉士・精神保健福祉士・精神科医の資格保持者、警察庁・都道府県警察の臨床心理士・公認心理師を指します。

※講師名の後ろの（ ）内は団体名称の略称です。

10月19日(日) 全体会 9:40～12:20 入場開始9:20 会場：6階 6-65・66・67

どなたでも参加できます。（対面・YouTube）		
9:20	開場	司会：奥山栄一（全国ネットワーク専務理事）
9:40～9:50	開会挨拶・分科会総括	熊谷明彦（全国ネットワーク副理事長、研修・支援活動部会長）
9:50～10:20	栄章表彰式、NNVS認定コーディネーター認定式	椎橋隆幸（全国ネットワーク理事長）
休憩（写真撮影）		
10:40～12:10	パネルディスカッション 「交通犯罪の被害者を救うために何ができるのか ～危険運転致死傷罪の課題～」	コーディネーター 川本哲郎（元同志社大学法学部教授、京都犯罪被害者支援センター副理事長） パネリスト 長 文恵（高速暴走・危険運転被害者の会 共同代表） 高石洋子（飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会 共同代表） 登坂比奈子（埼玉県警察本部警務部警務課犯罪被害者支援室 警察庁指定広域技能指導官）
12:10～12:20	秋期全国研修会閉会挨拶	椎橋隆幸（全国ネットワーク理事長）